

平成29年度 第3回
香美市障害者自立支援協議会

日時 : 平成30年3月23日(金) 13:30～

場所 : 香美市役所本庁舎5階委員会室3

日 程

1 福祉事務所長あいさつ

2 自己紹介

3 議 事

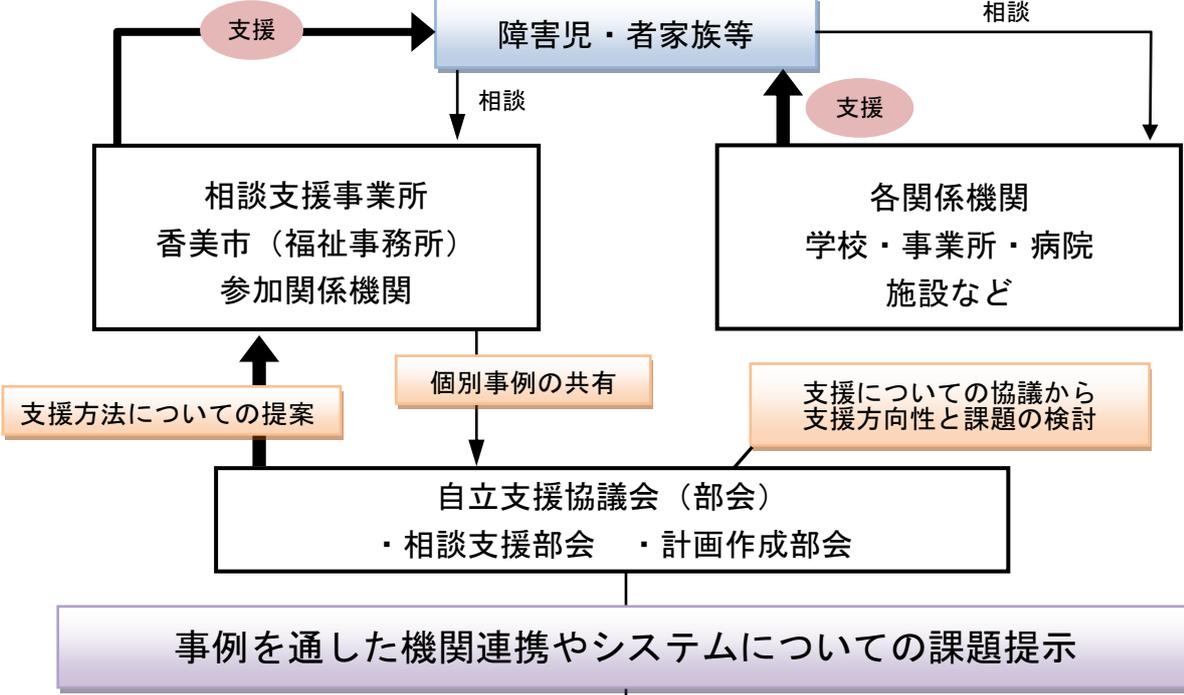
- | | |
|-------------------------------|--------|
| (1) 前回の障害者自立支援協議会（全体会）からの経過報告 | P5 |
| ①計画相談支援について | |
| ②障害者虐待防止等連絡協議会の開催について | |
| (2) 平成29年度障害福祉サービス等利用状況の報告 | P6～9 |
| (3) 地域活動支援センター香美からの報告 | P10～11 |
| (4) 相談支援部会からの報告 | P12～15 |
| (5) 香美市障害者計画等について | P16～17 |

4 副会長あいさつ

香美市の目指す将来像と基本目標



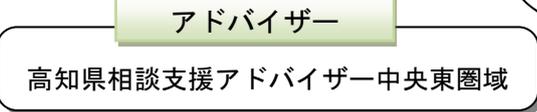
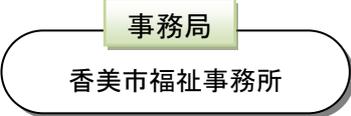
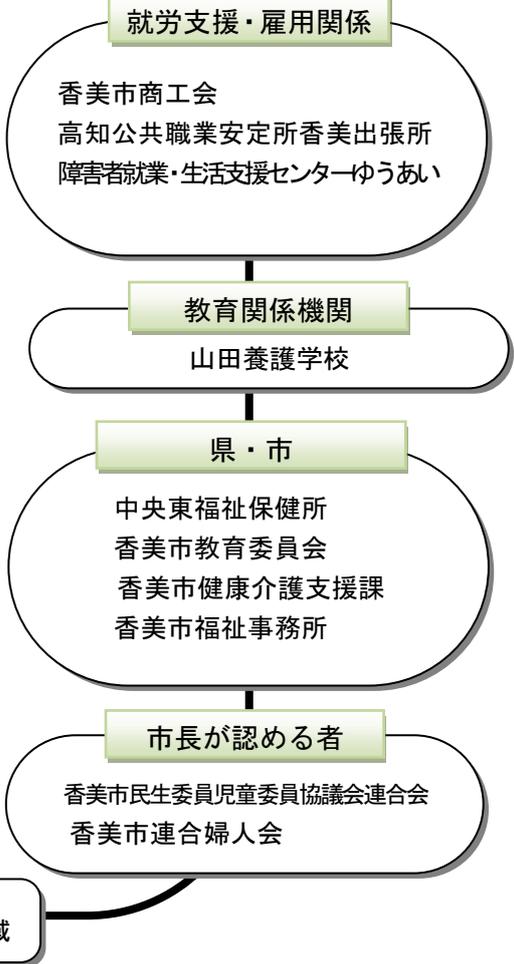
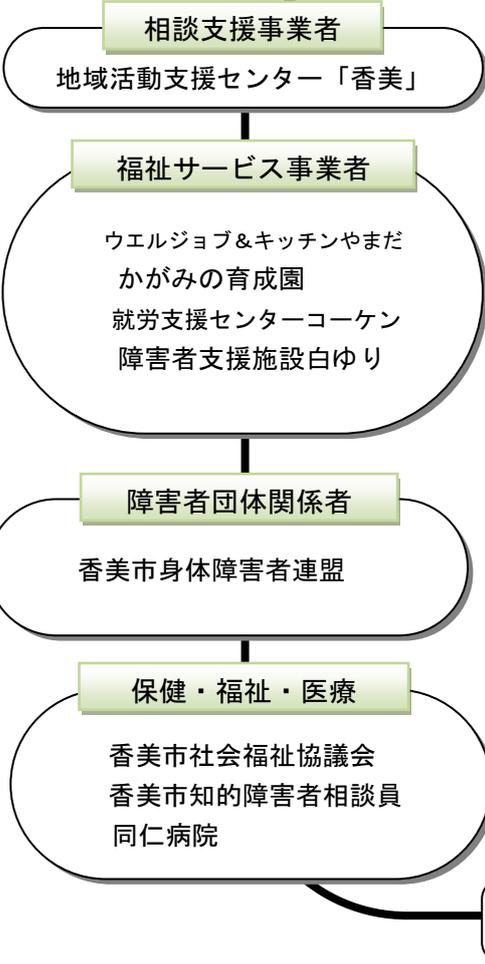
平成29年度
香美市障害者自立支援協議会の組織及び活動フロー図



香美市自立支援協議会 (全体会)

【主な機能】

- ① 委託相談支援事業者の評価
- ② 困難事例への対応・協議・調整
- ③ 障害者の就労促進
- ④ 地域の関係機関によるネットワーク構築
- ⑤ 地域の社会資源の開発・改善
- ⑥ 福祉計画等施策等の研究・検証
- ⑦ 他の協議会との共同研究・調整・情報交換など
- ⑧ その他目的を達するために必要なこと



番号	機関名等	委員職名	委員氏名	郵便番号	連絡先	電話番号	備考(FAX)
1	地域活動支援センター「香美」	管理者	タカノ タカシ 高野 隆司	782-0036	香美市土佐山田町1689-1	53-7077	52-8088
2	ウエルジョブ&キッチンやまだ	管理者	キタオカ アキヒロ 北岡 昭博	782-0035	香美市土佐山田町百石町1-14-9	57-2099	57-2044
3	かがみの育成園	園長	ハマダ アキラ 濱田 明	782-0051	香美市土佐山田町楠目3660	53-2174	53-2175
4	就労支援センター コーケン	サービス管理責任者	マエダ カズコ 前田 和子	783-0062	南国市久礼田368	088-862-3886	088-862-3887
5	障害者支援施設 白ゆり	サービス管理責任者	ニシオ ユウヘイ 西尾 悠平	782-0016	香美市土佐山田町山田1192	52-4131	52-1167
6	香美市身体障害者連盟	会長	イワコシ タカアキ 岩越 孝明				
7	香美市社会福祉協議会	会長	ヒロスエ トシロウ 弘末 俊郎	782-0041	香美市土佐山田町262-1	53-5800	53-5470
8	香美市知的障害者相談員		アキトモ ヒデシ 秋友 英稔				
9	同仁病院	相談員	ヨコガワ キエ 横川 貴恵	782-0035	香美市土佐山田町百石町2-5-20	53-3155	53-3096
10	香美市商工会	副会長	イシカワ ユウイチ 石川 祐一	782-0034	香美市土佐山田町宝町2丁目2番27号	53-4111	53-4113
11	高知公共職業安定所香美出張所	所長	マチダ ユキ 町田 由季	782-0033	香美市土佐山田町旭町1-4-10	53-4171	53-2291
12	障害者就業・生活支援センター「ゆうあい」	就業支援担当	タカハシ シンヒロ 高橋 佳宏	783-0005	南国市大堀乙2305	088-854-9111	088-854-9112
13	高知県立山田養護学校	校長	タナカ シンイチ 田中 信一	782-0016	香美市土佐山田町山田1361	52-2195	52-0031
14	高知県中央東福祉保健所	所長	タガミ トシシ 田上 豊資	782-0016	香美市土佐山田町山田1128-1	53-3173	52-4561
15	香美市教育委員会	指導主任	オカザキ ユカ 岡崎 由佳	782-8501	香美市土佐山田町宝町1-2-1	53-1081	57-0123
16	香美市健康介護支援課	保健師	スギハラ リエ 杉原 里恵	782-8501	香美市土佐山田町宝町1-2-1	52-9282	53-1094
17	香美市福祉事務所	所長	サタケ リト 佐竹 教人	782-8501	香美市土佐山田町宝町1-2-1	53-3117	53-1094
18	香美市民生委員児童委員協議会連合会	会長	ヤマナカ ヒロミチ 山中 博通	782-0041	香美市土佐山田町262-1(社協内)	53-5800	53-5470
19	香美市連合婦人会		ヨシモト エツコ 吉本 悦子				

機関名等	職名	氏名	郵便番号	連絡先	電話番号	備考(FAX)
アドバイザー						
高知県相談支援アドバイザー		スミモト ヨシミ 住友 芳美	781-5452	香南市香我美町下分684-1 地域活動支援センターあけぼの	57-7180	57-7181

議事(1) 前回の障害者自立支援協議会(全体会)からの経過報告

報告① 計画相談支援について

平成27年度から障害福祉サービス支給決定時には計画相談支援の導入が必須となっている。香美市の導入率は平成30年3月1日現在で、計画相談支援100%(201人利用)、障害児相談支援100%(45人利用)となった。

市内指定特定相談支援事業所の意見交換会については、今年度も相談支援体制の充実・相談支援事業所間のネットワーク強化に向け、意見交換会を開催し、情報交換のほか事例検討を行い、相談員のスキルアップを図った。

平成29年度 香美市相談支援事業所連絡会

4月24日 意見交換

7月24日 事例検討「知的障害者でガン治療者への支援」

10月23日 事例検討「周囲とのコミュニケーションに課題を抱えるシングルマザーへの関わりについて」

1月29日 事例検討「知的・聴覚障害への支援」

報告② 香美市障害者虐待防止等連携協議会の開催について

協議会委員について、4月1日付けで委嘱を行った。また、第1回の会議を平成30年2月14日に開催した。会では、事務局から障害者虐待防止法の概要及び市の虐待通報体制について説明を行った。

議事(2) 平成29年度障害福祉サービス等利用状況の報告及び第5期障害福祉計画見込量

(1) 障害福祉サービスの利用者数

No.	サービス名	単位		第4期障害福祉計画			第5期障害福祉計画		
				平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度
1 2 3 4 5	居宅介護 重度訪問介護 同行援護 行動援護 重度障害者等 包括支援	時間 /月	見込値	508	503	503	403	413	423
			実績値	445	357	317			
		人 /月	見込値	43	42	42	29	30	31
			実績値	39	36	29			
6	短期入所 (ショートステイ)	人日 /月	見込値	119	120	120	94	104	114
			実績値	84	96	84			
		人 /月	見込値	20	21	22	15	16	17
			実績値	14	19	14			
7	療養介護	人/月	見込値	9	9	9	9	9	9
			実績値	9	9	9			
8	生活介護	人日 /月	見込値	1,751	1,791	1,825	1,822	1,845	1,891
			実績値	1,744	1,662	1,700			
		人 /月	見込値	87	89	91	86	87	89
			実績値	87	82	85			
9	施設入所支援	人 /月	見込値	50	50	50	45	46	46
			実績値	47	48	47			
10	自立訓練 (機能訓練)	人日 /月	見込値	22	0	0	23	23	23
			実績値	16	46	46			
		人 /月	見込値	1	0	0	1	1	1
			実績値	1	2	2			
11	自立訓練 (生活訓練)	人日 /月	見込値	34	11	23	198	197	155
			実績値	83	92	89			
		人 /月	見込値	2	1	1	9	9	7
			実績値	9	7	4			
12	就労移行支援	人日 /月	見込値	23	21	3	21	21	21
			実績値	23	23	20			
		人 /月	見込値	1	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1			
13	就労継続支援 (A型=雇用型)	人日 /月	見込値	449	451	453	428	428	434
			実績値	552	564	428			
		人 /月	見込値	21	21	21	23	23	23
			実績値	28	29	23			
14	就労継続支援 (B型=非雇用型)	人日 /月	見込値	769	761	761	597	620	640
			実績値	745	790	562			
		人 /月	見込値	42	41	41	32	33	34
			実績値	43	43	32			
15	共同生活援助 (グループホーム)	人 /月	見込値	40	39	40	42	44	44
			実績値	39	41	43			
16	自立生活援助	人 /月	見込値				0	1	1
			実績値						
17	就労定着支援	人 /月	見込値				0	1	1
			実績値						

※1) 実績値は年度末時点だが、平成29年度のみ見込量を掲載。

※2) 人日とは、「月間利用人数」×「1人の1か月あたりの平均利用日数」で算出されるサービス量

(2) 相談支援事業の利用実績及び見込量

No.	サービス名	単位		第4期障害福祉計画			第5期障害福祉計画		
				平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度
1	計画相談支援	人 /月	見込値	27	27	30	30	30	30
			実績値	22	26	30			
2	地域移行支援	人 /月	見込値	1	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1			
3	地域定着支援	人 /月	見込値	0	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0			

※1)実績値は年度末時点だが、平成29年度のみ見込量を掲載。

(3) 障害児通所支援の利用実績及び見込量

No.	サービス名	単位		第4期障害福祉計画			第1期障害児福祉計画		
				平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度
1	児童発達支援	人 /月	見込値	14	17	15	11	11	11
			実績値	14	15	12			
		人日 /月	見込値	59	62	58	36	36	33
			実績値	43	43	41			
2	医療型児童発達支援	人 /月	見込値	3	3	3	0	0	0
			実績値	2	0	0			
		人日 /月	見込値	9	9	9	0	0	0
			実績値	4	0	0			
3	放課後等デイサービス	人 /月	見込値	18	18	20	52	54	54
			実績値	27	34	53			
		人日 /月	見込値	130	130	144	368	414	450
			実績値	155	234	310			
4	保育所等訪問支援	人 /月	見込値	16	21	23	2	2	2
			実績値	4	7	4			
		人日 /月	見込値	16	21	23	2	2	2
			実績値	4	7	4			
5	居宅訪問型児童発達支援	人 /月	見込値	-	-	-	0	1	1
			実績値	-	-	-			
		人日 /月	見込値	-	-	-	0	1	1
			実績値	-	-	-			

※1)実績値は年度末時点だが、平成29年度のみ見込量を掲載。

※2)人日とは、「月間利用人数」×「1人の1か月あたりの平均利用日数」で算出されるサービス量

(4) 障害児相談支援の見込量

No.	サービス名	単位		第1期障害児福祉計画		
				平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度
1	障害児相談支援	人 /月	見込値	11	11	11
			実績値			

(5) 地域生活支援事業の利用実績及び見込量

No.	サービス名	単位		第4期障害福祉計画			第5期障害福祉計画		
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	理解促進研修・啓発事業	実施の有無	見込値	有	有	有	有	有	有
			実績値	有	有	有			
2	自発的活動支援事業	実施の有無	見込値	有	有	有	有	有	有
			実績値	無	無	無			
3	相談支援事業	箇所	見込値	1	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1			
4	成年後見制度利用支援事業	実施の有無	見込値	有	有	有	有	有	有
			実績値	無	無	無			
5	成年後見制度法人後見支援事業	実施の有無	見込値				有	有	有
			実績値						
6	意思疎通支援事業	実人数／年	見込値	38	38	38	40	40	40

7 日常生活用具給付等事業

No.	サービス名	単位		第4期障害福祉計画			第5期障害福祉計画		
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
①	介護・訓練支援用具	件／年	見込値	3	3	3	2	2	2
			実績値	1	0	2			
②	自立生活支援用具	件／年	見込値	4	4	4	2	2	2
			実績値	1	2	1			
③	在宅療養等支援用具	件／年	見込値	6	6	6	3	3	3
			実績値	3	1	3			
④	情報・意思疎通支援用具	件／年	見込値	6	6	6	6	6	6
			実績値	4	8	6			
⑤	排泄管理支援用具	件／年	見込値	640	650	660	780	790	800
			実績値	735	750	750			
⑥	居宅生活動作補助用具(住宅改修費)	件／年	見込値	2	2	2	1	1	1
			実績値	0	0	0			

【参考】高知県補助事業

住宅改造支援事業	件／年	実績値	0	1	0			
----------	-----	-----	---	---	---	--	--	--

※1)実績値は年度末時点だが、平成29年度のみ見込量を掲載。

No.	事業名	単位	第4期障害福祉計画			第5期障害福祉計画			
			平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	
8	手話奉仕員養成研修事業	実人数 ／年	見込値			実施	実施	実施	
			実績値			実施			
9	移動支援事業	延時間 ／年	見込値	600	620	640	730	750	770
			実績値	685	786	720			
		実人数 ／年	見込値	11	13	15	12	14	16
			実績値	11	13	11			
10	地域活動支援センター	箇所	見込値	1	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1			
		実人数 ／年	見込値	26	28	30	30	30	30
			実績値	25	25	26			

No.	事業名	単位	第4期障害福祉計画			第5期障害福祉計画			
			平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	
11	日中一時支援	箇所	見込値	5	5	5	12	12	12
			実績値	11	12	12			
		実人数 ／年	見込値	7	8	9	6	7	7
			実績値	7	5	6			
12	声の広報等発行	実人数 ／年	見込値	10	12	13	4	4	4
			実績値	7	6	5			
13	自動車運転免許取得・改造助成	実人数 ／年	見込値	2	2	2	3	3	3
			実績値	2	5	1			
14	障害者虐待防止対策支援事業	実施の有無	見込値				実施	実施	実施

議事(3) 地域活動支援センター香美からの報告

平成29年度 地域活動支援センター「香美」事業報告 (平成29年4月1日～平成30年1月31日)

相談支援事業
委託相談
(一般相談)

■相談者数(実人数)

	身体	重心	知的	精神	発達	高次機能	その他	児童	合計
H29	20	0	47	136	17	2	4	71	297
H28	21	0	79	149	4	2	2	124	381

■支援方法(延べ件数)

	訪問	来所	同行	電話	メール	支援会議	関係機関	その他	計
H29	16	120	18	129	1	30	122	30	466
H28	54	93	37	106	12	102	212	21	637

■相談内容(延べ件数)

	福祉サービス 利用	障害や病気の 理解	健康 医療	不安の 解消	保育 教育	家族・人間 関係	家計 経済	生活 技術	就労	社会参加・ 余暇	権利 養護	その他	計
H29	145	2	34	33	22	26	8	71	82	27	11	41	502
H28	199	1	52	35	32	9	10	86	156	37	6	44	667

現状報告

- 1 委託相談からのニーズを受けて、福祉サービスの利用等、計画相談につなげていったことから、委託相談として対応する件数は減ってきた。
- 2 委託相談と計画相談が混同されることが多く、相談者や関係機関とも混乱するケースが増えてきている。

参考
計画相談

H29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画作成	4	1	5	5	5	5	4	5	3	9	7		53
(児童)	2	1	2	2	2	5	2	0	2	3	0		21
モニタリング	21	13	9	14	13	17	19	7	10	11	5		139
(児童)	3	5	7	4	1	5	1	2	4	3	3		38
H28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画作成	6	3	6	4	7	5	10	9	11	6	9	8	84
(児童)	0	2	2	4	3	4	1	0	2	1	0	0	19
モニタリング	16	13	12	14	15	13	18	8	15	8	10	11	153
(児童)	5	4	4	1	0	5	1	5	3	3	3	7	41

平成29年度 地域活動支援センター「香美」事業報告（平成29年4月1日～平成30年1月31日）

地域活動
支援事業

■登録者実人数（平成30年1月31日現在）

	内訳						計
	身体	知的	精神	発達	高次脳	児童	
H30年度	1	11	14	3	3	0	32
H29年度	1	10	9	2	3	0	25

■利用者数 年間延べ人数

H30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
のべ人数	107	152	155	130	151	121	148	109	114	99	118		1,404
開所日	20	19	22	20	22	20	21	19	20	19	19		221
1日平均	5.4	8.0	7.0	6.5	6.9	6.1	7.0	5.7	5.7	5.2	6.2		6.4
H28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
のべ人数	149	123	130	133	146	118	143	141	124	109	129	134	1,579
開所日	20	19	22	20	22	20	20	20	19	19	20	22	243
1日平均	7.5	6.5	5.9	6.7	6.6	5.9	7.2	7.1	6.5	5.7	6.5	6.1	6.5

活動内容

創作活動・・・折り紙教室、カレンダーづくり、手芸、アート作品づくり、硬筆、書道
 余暇活動・・・カラオケ、スポーツレクリエーション、パズル、DVD鑑賞、ガーデニング等
 クッキング・・・昼食づくり、おやつづくり
 座学・・・SST、ロールプレイ、衛生管理（歯磨きや身だしなみ等）
 行事・・・スポーツ大会、スピリットアート、交流会、ランチの会

現状報告

- 1 活動環境は良くなり、散歩などはしやすくなり、安全に活動ができるようになった。
- 2 立地的に公共施設の利用がしづらいため、現地集合という形をとることにより社会資源の活用を促している。
- 3 活動のスペースが広いため、個々の状態にあった参加の仕方が取れる。
- 4 初めての事にも興味が高く、ドミノ、硬筆、読書など新しい活動を展開し、集中した取り組みができています。
- 5 利用者同士の交流が増え、相手を気遣う気持ちなどの成長が見られている。
- 6 身近な相談場所になっており、必要に応じて相談員につながりもあつた。
- 7 利用者数に大きな変動がない。今後も広報活動や活動プログラムの充実を図っていく必要がある。

議事(4) 相談支援部会からの報告

平成 29 年度相談支援部会(4 月～2 月)報告

1 年度のテーマ

- ① 支援の連携をスムーズに進めるために、参加機関が知恵を出し合う (H25 年度から引き続き実施)
- ② 関係機関の情報共有と事例検討を行い、それを蓄積し、地域課題の抽出を行う

平成 29 年度は、関係機関の間で情報の共有を中心とした事例報告等を行っていく「情報共有定例会」と、事例検討等により支援についての課題を整理していく「相談支援部会」を開催し、個別課題と地域課題の整理を行い、その蓄積により、障害者を巡る地域課題の検討の抽出を実施。

※情報共有定例会と相談支援部会の開催月は以下のとおり。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
情報共有定例会	○	○		○	○		○	○		○	○	
相談支援部会			○			○			○			○

2 情報共有定例会

- ① 参加機関 高知県中央福祉保健所、同仁病院、香美市社会福祉協議会、香美市健康介護支援課
香美市福祉事務所、地域活動支援センター「香美」

② 内容

1) 各機関からのケース報告

- ・他機関に共有してもらいたい事例や支援のアイデアが欲しい事例について文書又は口頭により報告
- ・必要に応じてケース検討を実施

2) 前月報告のあったケースについて、その後の支援状況の報告

- ・支援の状況について、関係機関での共有

開催日	提出事例数	報告事例数(前回提出)	備考
4/17	3 事例	1 事例	4/17 の事例 5/17 の事例に共通した事案であるため、6/21 の相談支援部会で事例検討
5/17	2 事例	2 事例	
7/19	7 事例		7/19 の事例 8/16 事例に共通した事案であるため、9/20 の相談支援部会で事例検討
8/16	10 事例	3 事例	
10/18	7 事例		10/18 の事例 11/15 事例に共通した事案であるため、12/20 の相談支援部会で事例検討
11/15	7 事例	2 事例	
1/17	7 事例	1 事例	
2/21	10 事例(内口頭報告 2)	1 事例	

3 相談支援部会

- ・情報共有定例会で取り上げたケース報告等の事例検討を行い、個別課題と地域課題の整理を行い、障害者を巡る地域課題の検討を行う

・検討内容

開催日	協議事項	協議結果と課題
6/21	福祉事業所の利用者が相次いで利用を取りやめている事例について <ul style="list-style-type: none"> ・就労リズムが定着しない ・自己評価(本人)が、周囲評価(事業所)が異なる 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間や仕事の内容等について、本人への説明の方法を検討すべきではないだろうか ・本人の職業や障害特性について、障害者職業センター等にて客観的評価を受けてもらい、本人及び支援者側が共通した認識をもとに就労活動を行っていく必要があるのではないだろうか まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・事業所における障害者支援のあり方について、支援していくことが必要－福祉保健所の協力等は可能 ・モニタリングの際に、サービス管理責任者だけから話しを聞くのではなく、実際に支援に携わっている職員にも同席を願い、情報を共有していくことも必要 ・事業所の対応を改善する場合には、行政(市や県)を巻き込んで改善を求めていくことも必要
9/20	高齢単身者の支援について <ul style="list-style-type: none"> ・退院等により、市外から転居 本人に関する情報が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・転居後、本人の生活困難が発生してからの対応になってしまう 初動や関係性の構築に遅れが生じてしまう まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・病院での退院前カンファレンスとは別に、(受入に向けた)地域でのカンファレンスの開催を関係機関に提案していくことが必要ではないだろうか ・本人支援のために、転居先の大家等も巻き込んだ形で情報共有の場を設定することも検討すべき 連携・協力について、大家等に関係機関が伝えていく ・退院と同時に生活保護が申請(移管)されることもあり、障害以外の部署とも連携していくことが必要

12/20	<p>入退院を繰り返すとともに、こだわりが強く、コミュニケーションが困難なケース対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者への暴言等もあり地域生活の継続には困難が予想される 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院中に医療機関に見立てを立ててもら 施設入所 or 入院(療養病棟等)継続? 心理検査等による認知状態の確認 ・地域生活を送っていく場合 枠組みをもった支援(できることとできないことを伝える)が必要 生活に配慮が必要 介入時のルールを決める 金銭管理が必要 社協の介入 or 成年後見人? 居場所や話し相手の確保 <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援者が一人で抱え込まないようにすること大切 関係者でケース会をすることにより、様々な視点で本人を理解するとともに、支援者が統一した対応をすることにより、本人の混乱を防ぐことが必要
-------	---	--

3 相談部会(4月～2月)の成果

- ① 情報共有定例会で報告された事例報告を相談支援部会で事例検討として掘り下げることで、課題をより明確にすることができるようになってきた。
- ② 地域生活を継続するためには、障害福祉に関する関係機関の連携だけではなく、生活全般に関する支援機関(例：生活保護や教育の部署)や支援者(例：アパートや借家の大家)の連携を検討していくことの必要との意見が出された。
- ③ 障害者就労を継続していくために、障害特性の理解等、福祉事業所へ(研修等)支援についても検討していく必要があると意見も出された。

情報共有定例会

<目的>

支援機関の連携を深め、よりよい個別支援につながるよう知恵を出し合う。

<目的要旨>

- ★ 各参加機関の個別ケースの関わりについて理解する。
- ★ 報告事例を通して、肯定的な情報共有を行う。

ケース報告（当日各参加機関がペーパーを持参）

- ① 提出理由を明確にしてコンパクトに報告
 - ・ペーパー報告でたりるもの
 - ・他機関に共有してもらいたいこと、支援のアイデアが欲しいものを口頭報告。

② 様式項目

No.	年代	性別	障害種別	地名	報告理由	概要	今後の方針

相談支援部会

<目的>

地域支援をスムーズに進めるため、参加機関が連携して知恵を出し合う。

<目的要旨>

- ★ 事例検討等を通して、個別課題を見つける。
- ★ 個別課題の積み上げから地域の課題を捉え、解決に向けて検討する。

事例検討等

- ① 情報共有定例会で出された事例について、事例検討を行う。
- ② 別途検討したい事例があれば、事務局に連絡する。
 - ※ 事例概要等の取り扱いに注意する。
 - ※ 緊急性があるなど別途会議を持つ方がよいと思われるケースについては、あらかじめケース会等開催などに留意する。

内容 共通事項

1. 会の役割分担

- 事務局：香美市福祉事務所
- コーディネーター（まとめ役）/進行：地域活動支援センター「香美」
- ※ 部会の前に事務局会を開催（福祉事務所、地域活動支援センター「香美」、中央東WHC）、毎月の事務局会后、事務局より参加機関に開催案内と前回記録を送付する。

2. 会の進め方の留意点

- ※ 会の始まりに前回の振り返りを行う。
（事前に議事録を送付しているので、簡潔に行う。）
- ※ 当日のまとめを会の最後に確認する。

3. 記録（会議録）

- ※ 参加機関で持ち回りでを行い、事務局会前までにメールで送付する。
- ※ 記録の項目は、参加機関、日時・場所、記録機関、出た内容（発言機関名は必要に応じて記載）その他必要事項を記す。

～よりよい会にするために～

- @お互いの機関が、何ができるか、強みは何か知り合おう！
- @できないことばかりに目を向けず、できることを見よう！できていることをお互いほめよう
- @困っている事例、支援の糸口やアイデアを出し合おう
- @事例の報告は、わかりやすく、コンパクトに。目的を持った報告で、いろんな角度から意見をもらおう
- @自分たちも「よかった」とほっとできる、楽になれる場所を目指そう



議事(5) 香美市障害者計画等について

第3次香美市障害者計画・第5期香美市障害福祉計画・第1期香美市障害児福祉計画について、2月14日から2月28日の期間において、パブリックコメントを実施した。その結果、1件の意見書の提出があった。意見の回答については、ホームページを通じて公表予定である。

意見主旨	回答案
<p>今回の計画の閲覧方法では、種々の障害のある方がひとりで閲覧できないのではないか。計画書案の貸出や意見についても、本人確認ができれば、電話で聞けるように検討してほしい。</p>	<p>障害者計画に限らず、香美市の作成する計画のパブリックコメントについては、今回の閲覧方法（市役所・各支所・ホームページでの閲覧）を取っています。なお、本市では平成30年度中にパブリックコメント制度を制定する予定をしており、今回の貴重なご意見も含めて検討していきたいと考えております。（総務課）</p>
<p>項目ごとに区分・継続・改正・新規・削除が分かるような新旧対象表の作成を求める。初年度計画案、次年度計画案、最終年度計画案として障害者に配布。</p>	<p>今回の障害者計画については、基本目標から見直しています。また、前計画の施策については、他の施策にまとめたものが多くあり、新旧対照表で示したとしても非常に分かりにくいものとなるため、作成は行わないこととしました。また、障害福祉計画及び障害児福祉計画については、サービス等の提供体制の確保のための方策についての計画であり、掲載している第4期障害福祉計画と第5期障害福祉計画の利用実績及び見込量により第4期と第5期計画の比較ができるため、新旧対象表の作成は行いません。（福祉事務所）</p>
<p>現行の福祉タクシー制度を改定し、高知市・南国市並に使用できる方向に検討してほしい。（香美市の福祉タクシー制度では透析以外の方の利用は香美市内に限られている）</p>	<p>高知市、南国市のタクシー券につきましては、障害者を対象にしていますが、香美市は「障害者のみ対象」でなく「70歳以上」という条件で補助を行い、利用タクシーは、香美市内のタクシー業者と限定し、香美市内での利用としています。市外への利用に関しましては、現在のところ、命にかかわる治療を受ける透析患者のみ利用とさせてもらっています。今後、70歳未満でも、認知症などで運転免許を返還された方への対応など、交通弱者の方が利用しやすいよう検討していきたいと思っております。（健康介護支援課）</p>
<p>補装具・日常生活用具、特に意思疎通支援用具については日々進歩しているので、高知市並に支給してほしい。（香美市は上限10万円、耐用年数が6年で、高知市は上限20万円、耐用年数2年）</p>	<p>上限額・耐用年数については、近隣自治体の状況を確認し、決定しています。ご要望いただいた件は、視覚障害者用のソフトウェアについてであると思われませんが、これについて、改めて、近隣自治体の限度額・耐用年数について確認を行いました。上限額・耐用年数については、高知市のような例はありませんでした。現時点で香美市として、上限額・耐用年数を変更する予定はありませんが、他の補装具・日常生活用具も含めて上限額・耐用年数の変更を検討していきたいと思っております。（福祉事務所）</p>

意見主旨	回答案
<p>災害時の避難について、私の避難場所は中央公民館となっておりますが、側溝に蓋がなく危険とされますので、出来れば、白線とグレーチングを設置していただければ大変ありがたいです。</p>	<p>今回ご要望をいただきました、災害時の避難場所（中央公民館）までの避難経路である市道の危険箇所の改良「側溝へのグレーチングの設置」「白線の設置」につきましては、現在市道改良等を計画いたしておりますが、貴重なご意見をいただきましたので、今後の市道改良の参考にさせていただきます。（建設課）</p>